

平成 29 年度事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

1 公益目的事業について (演劇の振興事業)

1. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇の製作公演等による人材育成に関する事業 定款第 4 条第 1 号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 札幌座による演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

札幌からの演劇創造と発信を目指して公演を行い、製作公演活動を活用して新たな演劇文化の担い手を育成する研修事業を行う。運営は代表幹事に委託する。

代表幹事：斎藤歩 (チーフディレクター)、木村典子 (プロデューサー)

任 期：平成 28 年度～31 年度

平成 29 年度は、新作 4 作品、再演 2 作品、再演公演はそれぞれ海外公演ならびに道内ツアーとして実施予定。これまで毎年参加してきた「札幌演劇シーズン」にエントリーせず、新作の創造に重点を置き、演劇の製作および公演を行う。並行して、札幌市こども人形劇場こぐま座と連携し、札幌国際芸術祭 2017 に参加するなど、札幌市主催の芸術文化事業に寄与する。また、研修生を積極的に募集し、演劇製作を通じた人材育成に取り組む。

① 【新作】札幌座第 52 回公演「象の瞳に」(仮題)

原作：イ・ミギョン 翻訳：木村典子

脚色・演出・音楽：斎藤歩

出演：斎藤歩、佐藤健一、原子千穂子、山野久治 (風の色)、川崎勇人 (劇団東京乾電池)

公 演 日：5 月 11 日～14 日 (6 回)

会 場：シアターZOO (札幌)

※これまで交流を続けてきた韓国の戯曲に初めて取り組む。

② 【海外公演】札幌座「亀、もしくは…。」ユジノサハリンスク公演

原作：カリンティ・フリジェシュ 翻訳：岩崎悦子

脚色・演出・音楽：斎藤歩

出演：斎藤歩、清水友陽、すがの公、弦巻啓太、櫻井幸絵

公 演 日：6 月 19 日・20 日 (3 回)

会 場：A.P.チーフホフ記念サハリン国際舞台芸術センター

※これまで交流を続けてきた A.P.チーフホフ記念サハリン国際舞台芸術センターが主催する舞台芸術フェスティバル「ランパ 2017」に参加。

③ 【新作】札幌座清田公演「(タイトル 2 月末決定予定)」

作・演出・音楽：斎藤歩

出演：西田薫、廣田直美、彦素由幸、伊藤珠貴、斎藤歩ほか

公 演 日：6 月 25 日 (1 回)

会 場：札幌市清田区民センター (札幌)

※毎年札幌座公演を招へいする清田演劇のつどい主催で、演劇、歌、音楽による新作を創り、小さな市町村でも公演できる札幌座のレパートリーを開発。

- ④ 【新作】札幌座協力公演「二人で狂う…好きだけ」
 原作：ウジェーヌ・イヨネスコ 演出：小佐部明広
 出演：斎藤歩、小島達子（イレブンナイン）、高子未来、佐藤健一、すがの公
 公演日：7月7日～12日（7回）
 会場：シアターZOO（札幌）
 ※日本劇団協議会「日本の演劇人を育てるプロジェクト」の協力公演として、これまで俳優を対象に新人育成をおこなってきたが、今年度は演出家育成を目的にベテラン俳優とスタッフを配置し公演を実施する。
- ⑤ 【再演】札幌座第53回公演「空知る夏の幻想曲」
 作・演出・音楽：斎藤歩
 出演：斎藤歩、佐藤健一、山本菜穂、高子未来、熊木志保、木山正太
 公演日：10月14日～20日（9回）
 会場：サンピアザ劇場（札幌）
 ※平成27年に日本劇団協議会「日本の演劇人を育てるプロジェクト」で俳優育成公演した本作品を、札幌座本公演（サンピアザ劇場企画・プレミアムステージ）として公演する。一般公演とともに厚別高校全学年、厚別区内の小学5年生を対象とした団体鑑賞も実施する。
- ⑥ 【新作】札幌座第54回公演「暴雪圏」
 原作：佐々木譲 脚色・演出・音楽：斎藤歩
 出演：斎藤歩、磯貝圭子、林千賀子、山本菜穂、山野久治（風の色）、納谷真大（イレブンナイン）、山田百次（劇団野の上）、町田誠也（words of hearts）、有田哲ほか
 公演日：2月14日～21日（11回）
 会場：シアターZOO（札幌）
 ※北海道を舞台にした文学、北海道出身作家の作品を舞台化する新シリーズ「北の本棚」第1弾として、佐々木譲「暴雪圏」を上演する。今後、三浦綾子など、多様な北海道の文学を舞台化する予定。
- ⑦ 【道内ツアー】札幌座道内ツアー「空知る夏の幻想曲」
 作・演出・音楽：斎藤歩
 公演日：10月
 会場：中標津、江別、帯広、石狩、北広島、岩見沢
 ※本作品の背景でもある空知地方を中心に、札幌座の公演を毎年心待ちにしてくれている地域で公演する。
- ⑧ 札幌国際芸術祭2017プログラム「中島公園百物語」
 構成・演出：斎藤歩 人形製作：沢則行
 講師：清水友陽、磯貝圭子、西田薫、熊木志保ほか
 実施日：8月19日・20日（2回）
 会場：中島公園一帯（札幌）
 ※4月1日から、中島公園一帯の歴史を子どもたちとフィールドワークし、子どもたち自らがそれを妖怪にデザインし、沢則行とこぐま座で人形製作する。フィールドワークで取り上げられた妖怪をもとに斎藤歩が脚本を構成し、札幌国際芸術祭2017プログラムとして中島公園内でパフォーマンスを行う。

⑨ 札幌座研修事業

新たな人材育成を目的とした研修生システム（公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ）による俳優養成を行う（通年）。

講 師：斎藤歩、清水友陽、すがの公、弦巻啓太、櫻井幸絵、磯貝圭子ほか

(2) 演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部・演劇活動者、乳幼児と子育て世代、また、コミュニティ形成・活性化への演劇の活用など、幅広い年齢層・地域を対象に、演出家と実績あるワークショップ指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行う。

① 演劇ワークショップ事業

演劇部および演劇活動者を対象に、スキルアップのための各種ワークショップを行う。

実 施 校：北海道教育大学岩見沢校（劇団ぱるふえ）、琴似工業高等学校定時制（演劇部）、厚別高等学校（演劇部）、札幌市中学校文化連盟演劇専門委員会（演劇部）

※上記のほか、新篠津高等養護学校など市内・道内で数校の実施を検討中

講 師：斎藤歩、磯貝圭子、小佐部明広、畑澤聖悟（渡辺源四郎商店）ほか

② 演劇を活用した教育普及・普及啓発事業

小中学生など演劇初心者を対象に、演劇を活用したコミュニケーション教育および地域コミュニティ形成などの各種ワークショップを行う。

実 施 校：幌西小学校、苗穂小学校、生振小学校（石狩市）、立命館慶祥中学校（江別市）、とうや小学校（洞爺湖町）、洞爺中学校（洞爺湖町）ほか

※教育現場以外にも紋別市社会福祉協議会、浄土宗児童教化連盟全国大会など地域コミュニティでも積極的に取り組む予定

講 師：清水友陽、弦巻啓太、磯貝圭子、西田薫、納谷真大（イレブンナイン）ほか

③ 学び舎 ZOO

札幌座公演に合わせ、その作品に造詣の深いゲストを招き、作品について多角的に知識を深められる事業を行い、観客の育成と演劇の普及を図る（4月～1月、全6回）。

講 師：斎藤歩、清水友陽、佐々木譲ほかを予定

④ 地域で輝く子どもと子育て世代、そして高齢者のための

コミュニケーションワークショップ事業

次代を担う子どもたちと子育て世代、それらを見守り支えながら地域を元気にする高齢者などを対象に、演劇の表現手法を活用したコミュニケーションワークショップを行う。

実施地域：札幌市、石狩市、恵庭市、当別町ほかを予定

講 師：斎藤歩、櫻井幸絵、西田薫、廣田直美、櫻井ヒロほか

本事業のうち、(1)の①⑤⑥は「文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）」（日本芸術文化振興会）、②は「国際芸術交流支援事業」（文化庁）、③は「清田演劇のつどい」、④は「日本の演劇人を育てるプロジェクト（新進演劇人育成公演・演出部門）」（主催：日本劇団協議会、文化庁）、⑦は「アートシアター鑑賞事業」（北海道文化財団）、⑧は「札幌国際芸術祭2017」の事業として実施予定。

また、(2)は、①の一部と③を「文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等活性化事業）」（文化庁）に申請中、④を「地域づくり総合交付金」（北海道石狩振興局）に申請予定。①の一部と②は実施校から「文化芸術による子供の育成事業」（文化庁）に申請中（仮内定）、「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」（文部科学省）等に申請予定。

2. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業
 定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 扇谷記念スタジオ・シアターZOOの運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間の提供により、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として運営、管理する。具体的運営は、これまでの「代表幹事制」を変更し、平成29年度より「芸術監督制」とする。

芸術監督：斎藤歩

扇谷記念スタジオ・シアターZOOを、より地域に深く根差す「地域密着型劇場」、そこを拠点として人材が集まり作品創造に取り組む「創造型劇場」、この2つを柱に以下の事業を行う。

① シアターZOO「企画公演」「提携公演」事業

これまで、道内外で精力的に活動する劇団およびアーティストと協力し、シアターZOO【Re:Z】を実施してきたが、これを取り止め、上記の2つの柱に沿った長期的展望に立った事業として実施する。

[企画公演]

札幌の20～30代の劇作家3人を選抜し、若手劇作家の育成と創造を目的に公演を行うとともに、札幌国際芸術祭2017公式プログラムとしてダンス公演の再演、昨年から取り組んできた小さな子どもから大人まで楽しめる「劇のたまご」を新たなシリーズとして継続して上演。新たな観客層の開発にも取り組む。

8月	企画公演①札幌国際芸術祭2017公式プログラム「raprap」
11月	企画公演②劇のたまご「ぐりぐりグリム第一章」(演出：清水友陽) 企画公演③木製ボイジャー「ホテル」(作/演出：前田透)
12月	企画公演④レッドキングクラブ「ガタタン」(作/演出：竹原圭一) 企画公演⑤プロト・パспア「ある映画の話」(作/演出：小佐部明広)

[提携公演]

札幌座のディレクターが代表を務める劇団(ハムプロジェクト、清水企画、弦巻楽団)、道内出身で東京に活動拠点を置くアーティスト(道産子男闘呼倶楽部、MAM)を中心に、道内外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、北海道における演劇の創造と向上を目指す。

4月	提携公演①道産子男闘呼倶楽部(東京)
6月	提携公演②下鴨車窓(京都) 提携公演③ハムプロジェクト(札幌)
7月	提携公演④清水企画(札幌)
11月	提携公演⑤ハムプロジェクト(札幌) 提携公演⑥MAM(2018年【Re:Z】受賞作再演)
1月	提携公演⑦ラボチ(札幌)
3月	提携公演⑧弦巻楽団(札幌)

② シアターZOO「育成・普及啓発」事業

シアターZOOを「創造型劇場」「地域密着型劇場」として運営するため、下記の育成ならびに普及啓発事業を実施する。

[劇作家を育てるリーディング事業](8月～9月：3回：シアターZOO)

札幌の20～30代の劇作家3人を選抜して上演する[企画公演]の実施にともない、育成を目的に、札幌座員など経験豊かな俳優とのリーディング公演を行い、戯曲を点検し、舞台の強度を高める事業を行う。

[演劇人のためのスキルアップレッスン] (4月～1月：10回：スタジオ1)

札幌座公演に合わせ、その作品に必要なスキルをアップさせるワークショップを行い、俳優育成を図る。

[シアターZOO ラボ 2017] (4月～12月：4回：シアターZOO)

「創造型劇場」「地域密着型劇場」を目指すために、ロームシアター京都支配人兼エグゼクティブ・ディレクター蔭山陽太氏、札幌市市民交流プラザ舞台技術担当部長の伊藤久幸氏など、劇場運営の経験豊かなゲストを招き、札幌における地域密着創造型劇場の在り方を研究・提言する。

③ シアターZOO 寄席

定期的な寄席を開催し、演劇とは異なった形で地域住民とのコミュニケーションを図る。
時期：5月、7月、10月、1月 (4回予定)

④ 札幌劇場祭参加公演

参加団体：木製ボイジャー、プロト・パスプア、MAM、劇のたまごを予定
時期：11月1日～12月3日 (予定)

(2) サンピアザ劇場企画公演プレミアムステージの企画運営

札幌副都心開発公社と協力し、プレミアムステージの企画運営を行う。

本事業のうち、(1)の①②を「文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化事業)」(文化庁)に申請中。

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指す。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタッフの派遣、事業の運営および管理を行い、6作品を18カ所で23公演を行う。

① 劇団東京乾電池「やんごとなき二人」

作：安倍照雄 演出：平山秀幸 出演：綾田俊樹、ベンガル
公演地：豊橋市(愛知県)
時期：5月 <1カ所2公演>

② プリエール「世襲戦隊 カゾクマンⅡ」

作・演出：田村孝裕 出演：山口良一、熊谷真美、芋洗坂係長ほか
公演地：富良野市、旭川市、北見市、基山町(佐賀県)、北九州市(福岡県)、西宮市(兵庫県)
時期：8月1日～8月25日 <6カ所7公演>

③ KAAT「ピノキオ」

脚色・演出：宮本亜門 出演：小此木まり ほか

公演地：盛岡市（岩手県）
時 期：8月5日 <1カ所1公演>

④ プリエール「ザ・フルーツⅡ」

作・演出：中島淳彦 出演：春風亭昇太、六角精児、井之上隆志、中島淳彦ほか
公演地：知立市（愛知県）、静岡市（静岡県）、川西町（山形県）
時 期：9月26日～10月3日 <3カ所4公演>

⑤ 札幌座「空知る夏の幻想曲」

作・演出：斎藤歩 出演：佐藤健一、山本菜穂、高子未来ほか
公演地：江別市、帯広市、石狩市、中標津町、北広島市、岩見沢市
時 期：9月28日～10月24日 <6カ所8公演>

⑥ MTP「笑った分だけ、怖くなる」

演出：小野寺修二 出演：白石加代子、佐野史郎
公演地：札幌市
時 期：11月5日 <1カ所1公演>

4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業
定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOOサロン」を年8～10回開催、年間400名の参加者を見込む。また、ボランティア組織（清田演劇のつどい実行委員会、江別札幌座くらぶ、札幌座岩見沢公演実行委員会(仮称)）と協力して札幌市内および近郊で演劇公演を行う。
※現在、中高年を対象とした歌の教室（通年）の実施も計画中であるなど、シアターZOOを核に地域の文化環境の充実を図る。

(2) 広報紙の発行

北海道演劇財団21年目の新たな体制、新たな事業の展開を踏まえ、広報紙の充実を図るために内容を刷新し、より広報活動に使用できるものとする。

発行回数：年2回
発行時期：4月、10月
発行枚数：各700部

2 収益事業について

1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第 4 条第 2 号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 劇場とスタジオ 1・スタジオ 2 の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOO を主に道内の劇団や文化団体に、スタジオ 1・スタジオ 2 を特定非営利活動法人札幌座くらぶにそれぞれ貸与する。

2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第 4 条第 4 号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託する。

受託団体：特定非営利活動法人札幌座くらぶ